



## 吉田市政2期目の初定例会

平成25年第3回横須賀市議会定例会が、9月5日から10月8日までの会期で開かれました。吉田雄人市長再選後初の定例会で、2期目に向けての政策方針について注目が集まりましたが、残念ながら所信表明は行われず、一般質問では各議員から選挙運動中に市長が突然、それまでの議会で言っていたことを180度覆すように打ち出した「小児医療費助成の小6までの拡大」や「中学校での給食ニーズに応える」といった政策に質問が相次ぎました。

吉田市長は、定例会冒頭で所信表明ではなく就任あいさつを行い、『「選ばれるまち横須賀」をビジョンに掲げ、社会の変化が加速的に進んでいる社会状況の中で進むべき道を過（あやま）たず、私たちのまち横須賀をさらに発展させていくために全庁一丸となって知恵を出し合い、実効性のある施策を展開していきたいと考えている」と語り、議会との関係性については、「ともに市政を進める車の両輪としてお力添えをいただきますよう、より一層のご指導を賜りますようお願いいたします」と語りました。

続く一般質問の中での「2期目のスタートにあたり、なぜ所信表明を行わないのか？」の問いに、「市政に対する考え方はこれまでと変わりなく、第1回定例会における市政方針演説の中で述べたとおりであること。今後の施策については現在策定中の実施計画にその財源とともに位置づけた上で、市民や市議会に示したいと考えていたため改めて所信表明はしなかった」と答えました。

一般質問では、特に選挙期間中に市長が突然表明した政策について質問が相次ぎ、そのひとつが、「小児医療費助成の小6までの拡大」です。この件に関して、まず財源のめどについては「第1回定例会で対象を小2まで拡大する案を決議してもらったが（※本年10月施行）、提案にあたっては財政基本計画に掲げた数値目標が達成できていることが重要な

観点だった。今後の対象年齢の拡大にあたっては新しく策定する財政基本計画の目標と連動させながら拡充を図っていききたい」と答弁し、なぜ突然選挙時に掲げたのかについては、「これまでの議会でも拡大のニーズが高いことを認識してきた。若い世代の人口減を抑制するためにも注目されると思うので、政策集にも盛り込んだ」としました。しかしながら、「個人的な思いは小6まで拡大したい」とし、「これから策定する財政基本計画はそれを前提に策定するのか？」の問いに、「目標と連動させながら」と繰り返しました。

同じく選挙中に飛び出した「中学校での給食ニーズに応えます」という件については、「中学校での完全給食実施については、多額の財政負担を伴うことやカリキュラムの再構築、生徒指導等学校においても様々な対応が必要になり多くの課題がある。よって学校給食法に基づく完全給食の実施は考えていない。その上で現在実施しているスクールランチの充実を図ることが、現時点でとり得る最善の方策だと考える」と回答。「市民からすれば、『中学校給食のニーズに応える』と言われれば、中学校給食を実施してくれればと解釈するのが普通だと思うが」という指摘にも、「選挙で他の2候補が中学校給食の完全実施と掲げていたが、自分はスクールランチの充実が最善策という考えに基づき掲げた」との趣旨の発言に終始しました。

